

北薩感染症情報

2025年第26週(6月23日~6月29日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	注意報レベル基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数												
急性呼吸器感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	-	-	-	291	250	83.33	↓	-	79	81	40.50	↗	-
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	1	-	-	↓	-	-	-	-	→	-
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	-	-	-	2	4	1.33	↗	-	1	5	2.50	↗	-
小児科定点	RS	-	-	-	1	1	0.50	→	-	-	-	-	→	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	3	6	3.00	↗	◎	1	3	3.00	↗	◎
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	3	6	3.00	↗	-	1	1	1.00	→	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	9	15	7.50	↗	-	6	4	4.00	↓	-
	水痘	2.0	1.0	1.0	3	-	-	↓	-	-	2	2.00	↗	◎
	手足口病	5.0	2.0	-	1	-	-	↓	-	-	-	-	→	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	-	-	-	→	-	1	-	-	↓	-
	突発性発疹	-	-	-	5	3	1.50	↓	-	1	2	2.00	↗	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	-	3	1.50	↗	-	1	-	-	↓	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	3	2	2.00	↓	-	/	/	/	/	/
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
指定医療機関からのインフルエンザ入院報告		-	-	-	-	-	/	→	-	-	/	→	-	
指定医療機関からのCOVID-19入院報告		-	-	-	-	-	/	→	-	1	/	↓	-	
報告数合計		-	-	-	322	290	/	↓	/	92	98	/	↗	

<注意報・警報レベル>

- 川薩保健所管内 咽頭結膜熱(警報レベル)
- 出水保健所管内 咽頭結膜熱, 水痘(警報レベル)

<全数報告>

- 川薩保健所管内 百日咳4例 追加 百日咳1例(第25週)
- 出水保健所管内 百日咳7例 追加 百日咳1例(第25週)

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

■ 警報発令中 ■ 注意報発令中

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				17W	18W	19W	20W	21W	22W	23W	24W	25W	26W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	35.00	33.00	45.00	133.33	139.67	143.33	144.67	135.00	97.00	83.33
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	3.33	2.67	2.33	4.67	8.33	4.33	1.67	1.67	0.33	—
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	3.67	0.67	1.67	0.67	1.00	3.00	1.00	0.67	0.67	1.33
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.00	—	—	—	0.50	0.50	—	1.50	0.50	0.50
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	—	—	2.50	1.00	1.50	1.00	4.00	1.50	3.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	4.50	4.00	4.50	4.50	1.50	1.50	1.50	2.00	1.50	3.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	20.50	13.50	12.50	10.50	9.00	2.00	5.50	4.00	4.50	7.50
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.50	—	0.50	—	—	—	0.50	0.50	1.50	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	0.50	—	—	0.50	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	—	—	1.00	—	0.50	0.50	0.50	—	2.50	1.50
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	0.50	—	—	1.50
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	6.00	6.00	6.00	10.00	8.00	4.00	7.00	5.00	3.00	2.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				17W	18W	19W	20W	21W	22W	23W	24W	25W	26W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	34.50	45.00	49.50	57.00	57.50	60.50	46.50	29.50	39.50	40.50
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	1.00	—	1.00	0.50	—	—	—	—	—	—
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	1.50	1.00	—	—	1.00	1.50	1.00	1.00	0.50	2.50
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	4.00	3.00	3.00	—	2.00	—	—	—	—	—
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.00	—	—	1.00	—	—	5.00	—	1.00	3.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	3.00	4.00	2.00	5.00	1.00	5.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	6.00	6.00	6.00	5.00	2.00	3.00	9.00	6.00	6.00	4.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	1.00	—	1.00	—	2.00	1.00	—
	突発性発疹	—	—	1.00	1.00	2.00	—	1.00	—	—	—	1.00	2.00
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	1.00	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第26週において、川薩保健所管内では咽頭結膜熱が警報中、出水保健所では水痘が警報発令中です。

水痘は空気感染、飛沫感染、接触感染によって感染が成立します。基本的な感染対策及びワクチン接種で予防可能ですので、感染対策に努めましょう！

咽頭結膜熱の報告が増えています

・飛沫感染
・接触感染

咽頭結膜熱(プール熱)とは

アデノウイルスの感染により、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状を伴う、小児に多い病気です。通常夏期に地域全体で流行し、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月にピークを形成します。季節性流行の場合は、学童年齢の罹患が主であるとされているが、感染症発生動向調査での罹患年齢からは、5歳以下が約6割を占めています。

Q.咽頭結膜熱にならないためには...？

A. 流水とせっけんによる手洗い・うがいなどで、ある程度、感染を予防することができます。流行時には、感染者との密接な接触、タオルの共有は避けましょう。

Q.咽頭結膜熱にかかったら...？

A. 1日の間に39～40度の高熱と37～38度前後の微熱を上がったたり下がったりすることが4～5日ほど続き、扁桃腺が腫れ、のどの痛みを伴います。その他にも、頭痛、腹痛、下痢のほか、首のリンパ節が腫れることがあります。加えて、充血や目やにがでるなどの結膜炎症状がみられます。

Q.学校や幼稚園には行っているの...？

A. 学校保健安全法では、第二種感染症に位置づけられており、主要症状が消失した後2日を経過するまで出席停止とされています。ただし、病状により伝染の恐れがないと認められたときはこの限りではありません。



『プール熱』の由来

かつてはプール利用時の接触やタオルの貸し借り等で流行することがあったため、この病名がつけました。

※現在はタオル共用の減少等の理由より、プール利用における集団感染の報告は見られなくなっています。

参考資料

咽頭結膜熱 | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト (jihs.go.jp)

咽頭結膜熱 | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)

出水保健所管内における水痘の報告数が
警報レベルに達しました！

・空気感染
・飛沫感染
・接触感染

水痘とは...？

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘带状疱疹ウイルスというウイルスによって、引き起こされるかゆみを伴う発疹が全身に出現する感染症です。水痘は主に小児の病気で、9歳以下での発症が90%以上を占めると言われています。小児における重症化は、熱性痙攣、肺炎、気管支炎等の合併症によるものです。成人での水痘も稀にみられますが、成人が発症した場合、水痘そのものが重症化するリスクが高いと言われています。

水痘ワクチンは1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回目の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられています。



空気感染、飛沫感染、接触感染により広がります。家庭のほか、学校などの施設内でも感染の伝播がみられます。感染してから発症までの潜伏期間は長く、2週間程度くらいとされています。

家庭内における感染対策

家庭内接触での発症率は90%と報告されており、家庭内での感染を防ぐために水痘に触れた後の確実な手洗いやタオルの共有を避けるといったことも予防対策になります。

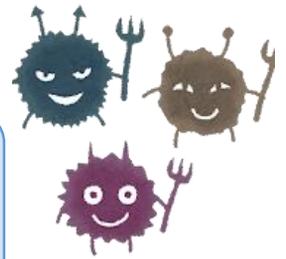
学校保健安全法における取り扱い

第2種の感染症に定められており、すべての発疹が痂皮化するまで出席停止とされています。ただし、病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認めるときは、この限りではありません。

百日咳の発生報告が続いています！

百日咳とは

百日咳菌 (*Bordetella pertussis*) の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作(痙咳発作)を特徴とする急性の気道感染症です。



症状は2～3ヶ月で回復すると言われてはいますが、乳児(特に新生児や乳児期早期)では重症になり、肺炎や脳症を合併することがあります。

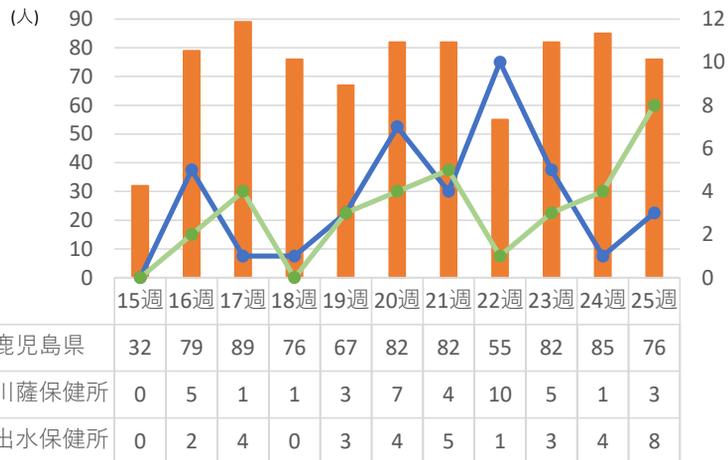
感染経路



鼻咽頭や気道からの分泌物による飛沫感染や、感染者と接触したりすることによる感染(接触感染)とされています。

ワクチンについて

百日咳はワクチン予防可能疾患の一つに含まれます。しかし、接種後4～12年で効果は減弱し、最終接種後、感染することもあります。



参考: 感染症発生動向調査システム (15週～25週)

医療機関のみなさまへ

平成30年1月1日より百日咳が**全数把握疾患**になっています！
百日咳の診断がございましたら報告の御協力をお願いいたします。

参考資料

百日咳 | 厚生労働省 (mhlw.go.jp), 日本細菌学会 (jsbac.org)

百日咳 | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト (jihs.go.jp)